

# NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局 ■ 社団法人 長野青年会議所 内  
Tel : 026-228-3260  
http://www.sekaisan-zenkoji.com

## 世界遺産暫定リスト追加選考に向けて

2006年度より日本政府がユネスコに推薦する世界遺産暫定リストについて、文化庁は地方自治体より提案書の公募を行いました。「善光寺」は2006年度の審査で継続審査案件として次年度以降に結果が持ち越されました。結果を受けて長野市教育委員会では提案内容や構成資産の見直しと追加をして、昨年12月に文化庁へ再提出をしました。暫定リストの追加選考の公募に提案書を提出したのは全国で32件。文化庁では時代や分野毎に4分科会に分かれて審査中であり、その結果は今秋となる見込みです。

日本の世界遺産	
①法隆寺地域の仏教建造物	
②姫路城	
③屋久島	
④白神山地	
⑤古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)	
⑥白川郷・五箇山の合掌造り集落	
⑦原爆ドーム	
⑧厳島神社	
⑨古都奈良の文化財	
⑩日光の社寺	
⑪琉球王国のグスク及び関連遺産群	
⑫紀伊山地の霊場と参詣道	
⑬知床	
⑭石見銀山	
2007年7月現在	
文化遺産 11件	
自然遺産 3件	
計 14件	

日本の世界遺産暫定リスト	
(平成4年)	
・「古都鎌倉の寺院・神社ほか」(神奈川県)	
・「彦根城」(滋賀県)	
(平成13年)	
・「平泉の文化遺産」(岩手県)	
(平成19年)	
・「富岡製糸場と絹産業遺産群」(群馬県)	
・「富士山」(静岡県・山梨県)	
・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(長崎県)	
・「国立西洋美術館本館」(東京都)	
・小笠原諸島(東京都)	
2007年12月現在	
文化遺産 8件	
自然遺産 1件	
計 9件	

## 文部科学省、文化庁訪問

すすめる会は5月28日、加藤会長、鷺澤長野市長、若麻績寺務総長ら約20人で、文部科学省および文化庁を訪問し、渡海紀三朗文部科学相や青木保文化庁長官らと懇談、世界遺産暫定リスト追加選考に向けて「善光寺と門前町」のアピールを行った。この日は、小坂憲次衆院議員、宮本忠長専門委員、土本俊和専門委員らも参加。市教育委員会が設置した調査委員会の研究調査の資料などを基に、善光寺と門前町の普遍的価値、特に、本堂の平面構成が縦長であることや、度重なる火災などで再建を繰り返しながら発展的に変容して築かれた民衆を受け入れる寺と町の構造、宿坊群の質の高い木造建築物の集積度の高さなどについてその価値を説明した。

渡海文科相からは「門前町としてこれだけまとまった場所は他にはない」「個人的な興味としては、そういう価値はあると思う」と理解を示す一方で、「平泉の文化遺産」(岩手県)に対し、ユネスコの諮問機関イコモスが登録の延期を勧告したことに触れ、「そのハードルは厳しい」と指摘された。また青木文化庁長官からは「世界的になかなか仏教への理解が得られにくい」「仏教国が連携して仏教の普遍性を訴える必要がある」と登録に向けた課題を示した。また同席した高塩至文化庁次長からは、「地域的な広がりや文化的な結びつきは、その価値を絞り込み特化しないとその関連性が希薄になり

説明しにくい」「文化的広がりやつながりは意識した方がよいがまとまりは必要」とし、近年の世界遺産登録に向けた傾向として広域化やネットワーク化が図られていることについて限界があることを示した。文化庁では「平泉」の登録延期勧告を受けて、7月にカナダで開かれる世界遺産委員会までに「平泉」の登録に向けた対策を全力で行う姿勢。当初8月に予定していた国内の暫定リスト追加選考にあたっては、「平泉」の可否と世界的な登録の動向を考慮しながら選考をする方針で、その審査を秋に延期することを明らかにした。(松橋寿明副幹事長)

## 2008年度事業計画

### 暫定リストに向けた活動の推進

- 暫定リスト提案書作成ワーキンググループへの支援・協力
- 調査委員会が行う仲見世等の建築物調査への支援・協力

### 一般市民への啓発活動

- メディアを使ったPR
- 調査報告のパネル展示会開催
- ニュースレターの発行
- ホームページの更新・充実化
- ワークショップ・フォーラムの開催



推進会議(月1回開催)メンバー(一部欠席7/22撮影)

## すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日税理士法人	信州製袋	長野朝日放送	長野市連合商工会	八十二銀行
朝日病院	信防工ディックス	ながの観光コンベンションビューロー	長野信用金庫	八十二文化財団
植木商店	信毎文化事業財団	長野北ロータリークラブ	長野青年会議所	福澤商店
エーシーエ設計	鈴木土地	長野ケーブルテレビ	長野設計協同組合	藤森建設工業
FMぜんこうじ	炭平コーポレーション	長野県経営者協会長野支部	長野通運	ベイックコーポレーション
FM長野	駿専・青木商店	長野県建設業協会長野支部	長野都市経営研究所	北信土建
エムケー精工	善光寺	長野県建築士事務所協会	長野トヨタ自動車	ホテル国際21
おらが園	善光寺木遣保存会	長野県社会保険労務士会	長野トヨベツ	増田商会
カシヨ	善光寺まちづくり会議	長野県信用組合	長野西ロータリークラブ	松澤工業
岸クリニック	損保ジャパン長野支店	長野県信用農業協同組合連合会	長野日産自動車	松田産業
北野建設	第一印刷	長野県中小企業団体中央会	長野東ロータリークラブ	マツヤ
倉田博光会計事務所	第一建設工業長野支店	長野支部	長野放送	マルイチ産商
小池新聞店	第一法規	長野小売酒販組合	長野ユネスコ協会	萬佳亭
国際ソロプチミスト長野	泰和	長野国際親善クラブ	長野ロータリークラブ	ミヤテック
国際ソロプチミスト長野みすず	タカチホ	長野市区長会	中村建築研究所	宮本忠長建築設計事務所
小林歯科医院	高野総本店	長野市設計協会	中山法律事務所	明和印刷
西條被服	滝沢被服	長野市電設業協会	夏目	元善町
信濃毎日新聞社	長印	長野市PTA連合会	日新電機製作所	山口司法書士事務所
シューマート	鶴賀病院	長野市文化芸術協議会	日本通運長野支店	山本写真機店
信越定期自動車	テレビ信州	長野酒造協会	日本機材	八幡屋礪五郎
信越放送	電算	長野商工会議所	日本旅行社長野支店	
信州経済同友会	東邦商事	長野商店会連合会	野村證券長野支店	(50音順)

平成20年8月現在 ※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

## 編集後記

「シンボルマークの決定、4回に渡るワークショップの開催、そして300名以上の方にご参加頂きましたフォーラムの開催を通じ、確実に世界遺産登録運動は市民の中に定着して来ていると感じます。予定では本年内に暫定リストへの登録の可否が決定いたします。約8年間の運動が実を結びます事を願い、更に活発な運動を展開したいと思えます。文末になりましたが、本誌を発行するにあたり数多くの皆様にご協力頂きました。この場をお借りいたしまして、御礼を申し上げます。」(事務局 渡辺 圭)

## 善光寺世界遺産登録への道 フォーラム開催

5月10日(土)に長野市生涯学習センター(トイゴ)にて「門前町文化フォーラム・善光寺世界遺産への道」と、信州大学工学部土木本研修室製作による「善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区建物調査パネル展」を開催しました。300名の定員を超える市民の方々に参加いただき、町づくりについてのパネルディスカッションや基調講演が行われました。基調講演では、世界遺産を審査する国際機関・イコモスの前副会長で東京大学教授の西村幸夫先生(都市計画)に「世界文化遺産の考え方」と題してご講演いただきました。講演では世界遺産の背景や理念、そして近年において多角化する様々な構成資産が登録されている現状な

どについて紹介されました。「善光寺と門前町」について、提案書プレゼンテーションのポイント「度重なる火災から再建を繰り返し、発展的な変容過程を得て規模を拡大した生きている文化財」について「その考え方は新しい試みであり日本国内の他の遺産には見られない」と評価する一方で、「門前町などその周辺を取り巻くバッファ(緩衝地帯)が重要となる」と指摘されました。また、パネル展をみられた感想として「宿坊群にみられる質の高い和風建築と3階建木造建築物群の集積度の高さ」に理解を示され、調査活動や保存活動の取り組みに今後の大きな期待を寄せられました。



### 村井県知事へ世界遺産暫定リスト提案書「善光寺と門前町」の説明訪問

平成19年12月18日にすすめる会の新会長である、加藤会長、中島善光寺寺務総長、池田副議長、若麻績幹事長、鈴木事務局長他2名にて、県庁を訪問し、村井県知事(当会顧問)に、すすめる会の活動報告と、世界遺産暫定リスト提案書の説明を行いました。

### 第2回世界遺産フォーラムへの参加

平成20年2月1日第2回世界遺産フォーラム瀬戸内大会が広島県福山市で開催され当会より2名参加しました。それぞれの立場から文化遺産を通じた地域の普遍的価値を考えるさまざまな意見交換がなされ、特に、鞆の浦架橋問題についてその計画を見直すようにアピールがなされました。

## 2008

- 1月 ワークショップ@善光寺
- 3時限目「女性たちが語る善光寺の未来」開催
- 2月 第2回世界遺産フォーラム瀬戸内大会参加
- 第9回推進会議開催
- 照明デザイナー 石井幹子専門委員との懇談会
- 3月 ワークショップ@善光寺
- 4時限目「ワークショップまとめ」開催
- 第10回推進会議開催
- 5月 2007年度決算・2008年度予算総会
- 「善光寺世界遺産登録への道」フォーラム開催

- 9月 『善光寺の世界遺産登録をすすめる会』シンボルマーク決定
- 第5回推進会議開催
- 10月 新ポスター・シンボルマークステッカー作成
- 第6回推進会議開催
- 11月 ワークショップ@善光寺
- 1時限目「善光寺界隈を歩く～宿坊と七小路～」開催
- 第7回推進会議開催
- 12月 長野市教育委員会より文化庁に世界遺産暫定リスト提案書「善光寺と門前町」を提出
- 長野商工会議所 加藤会長が、すすめる会会長に就任
- ワークショップ@善光寺
- 2時限目「善光寺宿坊の見学」開催
- 村井県知事へ世界遺産暫定リスト提案書「善光寺と門前町」の説明会
- 第8回推進会議開催

## 2007年度 事業報告

## 2007

- 4月 2006年度決算・2007年度予算総会
- 暫定リスト提案書作成ワーキンググループ発足
- 東京大学教授 藤森 照信先生(専門委員)との懇談会
- 第1回推進会議開催
- 5月 第2回推進会議開催
- 6月 第3回推進会議開催
- 7月 ニュースレターVol.6発行
- 第4回推進会議開催
- 8月 『善光寺の世界遺産登録をすすめる会』シンボルマーク募集開始

## 2007年度 活動の記録

### 4回に渡るワークショップが開催

世界遺産暫定リストへの選考に向けて、市民レベルへのアピールを目的に、第1時限～第4時限のプログラムで、ワークショップを開催いたしました。各プログラムでは、約100名におよぶ多くの市民の方々にご参加いただき、善光寺さんの魅力を発信することができました。

### 第1時限

#### 「善光寺界隈を歩く～宿坊と七小路～」

#### 講師:小林玲子

日時:11月10日(土) 午後1:30～3:30

初回となる「善光寺界隈を歩く～宿坊と七小路～」には、百名を超える市民が集まり、熱気に包まれました。仁王門前で松橋寿明副幹事長の挨拶に続き、本堂に参拝。その後、三十九の院坊の建ち並ぶ門前町を歩きました。途中、江戸時代から紹介されている「七小路」も巡り、大門町も含めた、門前町の魅力を確認しました。参加者からは、院と坊の配置など新たな見方ができたと好評でした。



### 第2時限

#### 「善光寺宿坊の見学」

#### 講師:土本俊和

日時:12月8日(土) 午後1:30～3:30

2時限目は、善光寺の宿坊のうち「堂明坊」と「常徳院」を見学しました。善光寺周辺地区の伝統的建造物の調査を実施した信州大学工学部・土本教授から説明をいただきました。「堂明坊」では隣接する浄願坊や堂照坊と隠し扉式の避難口によって火災時に避難できるようにつながっているなど、度重なる災害の教訓から得られた独自の建築上の工夫などが紹介されました。また登録文化財でもある「常徳院」は明治大火

でその被害から逃れた数少ない宿坊のひとつの重要性や、木造3階建てへの建て増しの過程などについて説明されました。



### 第3時限

#### 「女性たちが語る善光寺の未来」 特別ゲスト:鷹司誓玉お上人様

#### 石川利江・市川美希・塚田まゆり

日時:1月19日(土) 午後1:30～3:30

第3時限は1月19日、大本願で鷹司お上人様に特別ゲストとしてご参加いただき、やや緊張した雰囲気が始まりました。始めに中世の、物語や能に描かれた女性と善光寺の関わりなどから始まり、お上人様からは「もったいない」をキーワードに門前町に生きる私たちへのご提言をいただきました。お上人様への質問なども出て、和やかに賑やかにワークショップを終了しました。



### 第4時限

#### 世界遺産暫定リスト追加選定提案書 「善光寺と門前町」プレゼンテーション

#### 長野市教育委員会世界遺産提案書作成

#### ワーキンググループ

日時:3月1日(土) 午後1:30～3:30

最終回となる第4時限目は今までとは趣向を変え、世界遺産暫定リスト追加選定の為に作成された提案書「善光寺と門前町」のプレゼンテーションを行いました。ワーキンググループメンバーより提案書のコンセプト、資産に含まれる文化財の詳細、保存管理計画、世界遺産の登録基準への該当性などが発表され、最終回にふさわしく「善光寺の普遍的価値」や「門前町の独自性」を考える機会となりました。



### 善光寺の 世界遺産登録に向けて

## 第6回

善光寺の世界遺産登録をすすめる会  
専門委員  
土本俊和

世界遺産登録は、国による保護がなされていることが前提である。善光寺の場合、文化財保護法の枠組みのなかでは、すでに、本堂が国宝、山門(文化財保護法による指定では三門)が重要文化財であり、現在、重要伝統的建造物群保存地区としての選定を目指している。善光寺周辺域の建造物調査は、保護の手だてをさらに広げるためであり、平成16年(2004)の暮れから、まず宿坊から調査をはじめた。

世界遺産登録への道のりとして、国による保護に加えて、善光寺が世界遺産暫定リストに選定されなければならない。選定されるためには提案書を作成し、それに基づいて評価を受けなければならない。提案書を善光寺に即して作成しはじめたのが平成18年(2006)であった。翌年の評価では、暫定リストに選定されなかったが、継続審議案件に位置づけられた。これをうけて、平成19年(2007)には、ワーキンググループを結成して、世界遺産暫定リストに向けた提案書を根本から練り直した。歴史学から原田和彦氏、都市計画学から浅野純一郎氏、建築家として松橋寿明氏、建築史学から土本、長野市教育委員会文化課のスタッフ、信州大学工学部土本研究室の教員と学生を得て、資料収集と原案作成を進め、内外の様々な学識経験から数々の助言をうけて、今回の提案書をつくることができた。

世界遺産は自然遺産と文化遺産から成り、両者を併せ持つものとして複合遺産を含めることができる。文化遺産といえは、その資産の資質として問われるのがモノそのものである。善光寺本堂、山門、仁王門、経蔵、鐘楼、大勧進、大本願、宿坊群、仲見世、門前町といった建造物群のうち、とりわけ「善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区調査」で得られた実測図と写真が視覚的に優れたプレゼンテーションを導いた。

モノに加えて、重視すべき事柄は、コンセプト、コアゾーン、バッファゾーン、純真性、全体性であろう。今回の提案書で、コンセプトを大きく見直した点は、その表題に表れている。すなわち、「善光寺と門前町」である。この表題は矛盾しているように見える。しかし、これはコンセプトを集約した文言である。つまり、善光寺を核として形成された都市域が現在の門前町であり、その門前町のなかに現在の善光寺がある。こういう長い時間の流れのなかの場の形成過程として原初と現在を統合させたのが「善光寺と門前町」という表現である。すなわち、「善光寺」は出発点であり、「門前町」の形成を促し、今も遺存し、現在の「門前町」のなかに立地している。「善光寺と門前町」は、時系列の流れを含みつつ、この領域の全体性を表現している。

提案書「善光寺と門前町」は、善光寺の資産価値をモノとして位置づけているものの、いまも生き続けるは生きたモノとしての側面を強調している。これは、長い時間の流れのなかで在り続けてきた善光寺、そして善光寺を核として形成されてきた門前町、これら双方の発展的な変容を強調した結果である。善光寺を核としてできた都市は、単核型門前町というべき秀麗な姿をもつ。建築と都市の形態を強調した以上の観点は、「善光寺と門前町」という表題とびつ



寛文年間(1700年代)の如来堂と門前町(長野市立博物館蔵)

たりであろう。

つぎに、今回の提案書でコアゾーンを少し見直した。コアゾーンは世界遺産にとって最も重要な所である。伝統的建造物群保存地区に予定されている地区に加えて、門前町の一部、さらに善光寺に至る街道の一部をコアゾーンに含めた。

また、今回の提案書でバッファゾーンを大きく見直した。この空間はコアゾーンを包み込むように設定される。実は、日本の文化財行政で最も欠落していたのは、バッファゾーンの設定であった。奈良や京都に貴重な文化財が多数遺存している。しかし、その周囲の環境が厳密に守られてきた場所はほとんどない。バッファゾーンという考え方は、さかのぼれば、フランスで1962年に文化相アンドレ・マルローが提唱したマルロー法が先駆的な手法であった。重要な建造物の周囲500メートルにある建物に規制をかけたる都市計画的な含む手法であった。近代の長野



現在の善光寺と門前町

©中日新聞

市の場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

さらにまた、今回の提案書で純真性という価値概念に配慮した。とくに発展の変容という側面を含ませた。古代の善光寺で本堂は金堂と記されており、近年提示された建築史の説によれば、その姿は古代の法隆寺の金堂と酷似していた。その後、法隆寺金堂は古代の原形を保って今日に至った。対して、善光寺金堂は名称を本堂に変えつつ、古代の原形から大きく離

れていった。古代にあたえられた原形を保ち続けた変容過程を「法隆寺型」とし、原形を残しつつ原形から離れていった変容過程を「善光寺型」とした場合、日本建築史のなかで、「法隆寺型」変容の典型が善光寺である、と位置づけることができる。「法隆寺型」と「善光寺型」との対比は、

金堂なし本堂に限定されない。この対比は、ひろく、境内や門前町にもあてはまる。実際、法隆寺はいまお築地塀で囲われた閉鎖的な境内を保っており、一部の築地塀は室町時代の遺構である。対して、善光寺は、大勧進や大本願以外の領域は、塀らしい塀がなく、寺域が門前町にじかにつづいており、開放的な空間を形づくっ

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。

た場合、昭和25年(1950)に制定された文化財保護法ではなく、むしろ戦前からの都市計画によって、明快な都市形態ばかりでなく、善光寺を取り巻くバッファゾーンが設定されてきた。それは善光寺の存在を尊重した都市計画であった。現行の規制をひもといっていくと、善光寺を核としたすばらしいバッファゾーンが形成されることが明らかになった。先人の都市計画的な努力が世界遺産におけるバッファゾーンにつながった点は、今回の提案書作成のすばらしい発見であった。